

あらい まりこ
新井 真理子 さん (十倉)

【市民の皆さんへメッセージ】
毎日笑って楽しみましょう♪



農業は楽しいと笑顔で語ってくれた新井さん。父と二人三脚でスイカやトマト、じゃがいもなど数種類の農作物を栽培していらっしゃいます。農業は力仕事もあり、つらいといったイメージがある中、女性で若くして就農されている新井さんに、農業に対する想いをお聞きしました。

小さい頃から畑に出てお手伝いを

祖父の代から農家でしたので、私が小さい頃から農業のお手伝いをしていました。

と言っても、小さい頃でしたので、お手伝いというよりも、邪魔をしていただけかもしれません。(笑)

でも、小さい頃から農業の楽しさを味わっていたので、高校卒業後には自然と農業の道へ進んでいました。



大事に育てた野菜の収穫が1番楽しい

就農してみて、農業の大変さを知りました。農業は自然を相手にしていますので、常に天候、気温を気にしています。年によって、農作物の品質が変わってくるのは日照時間などが影響しています。時には、不作のときもあつたりしますが、大事に育てていますので、収穫する 때가 1 番楽しいし、達成感を味わえます。

これからチャレンジしたいことは機械の運転

父から厳しい指導を受けながらも、日々野菜と向き合っていますが、まだ、トラクターなどの機械は扱わせてもらえていないので、これからは機械を扱ってみたいです。



農業の楽しさを味わって

農業は、ひとつの野菜を収穫しながら、同時に別の野菜を育てていますので、1年間ずっと作業をしています。寒くても暑くても畑に出て、作業しないといけません。力仕事もあるので、大変というイメージを持たれるかもしれませんが、苦勞して育てた野菜を収穫した時の達成感は大きいですし、何より楽しいです。新鮮な野菜を味わえますね。それと、汗をたくさんかくので、健康的です。農業という仕事に興味がある人は、ぜひこの楽しさを一度味わってもらいたいです。

「富里すいかまつり」にかわり

新たに「富里すいか Week」として開催♪

開催期間
6.13
- 6.19

市の特産物である「すいか」の季節となりました。市では、これまで「すいかまつり」と称して、共進会や出店等のイベントを開催してきましたが、市制 20 周年を契機に「富里すいか Week」として実施します。「富里すいか Week」期間中は、本市で初めての観光・交流拠点施設「末廣農場」などでイベントコーナーを設置し、「富里すいか」を盛り上げていきますので、是非、ご来場ください。

「富里すいか Week」 イベント情報

- 期間 6月13日(月)～6月19日(日)
- 場所 観光・交流拠点施設「末廣農場」、
JA富里市産直センター1号館及び2号館
- 内容 市制20周年記念グッズの配布など